



停止...  
SANtricity commands  
NetApp  
June 17, 2025

# 目次

停止.....	1
非同期ミラーグループの役割の逆転をキャンセルする - SANtricity CLI .....	1
サポートされているアレイ .....	1
ロール .....	1
構文 .....	1
パラメータ .....	1
最小ファームウェアレベル .....	1
整合性グループのスナップショットのロールバックを停止する - SANtricity CLI .....	1
サポートされているアレイ .....	2
ロール .....	2
コンテキスト (Context) .....	2
構文 .....	2
パラメータ .....	2
注： .....	3
最小ファームウェアレベル .....	4
整合性グループのスナップショットボリュームを停止する - SANtricity CLI .....	4
サポートされているアレイ .....	4
ロール .....	4
コンテキスト (Context) .....	4
構文 .....	4
パラメータ .....	4
最小ファームウェアレベル .....	5
ボリュームパリティチェックジョブの停止 - SANtricity CLI .....	5
サポートされているアレイ .....	5
ロール .....	5
構文 .....	5
パラメータ .....	5
最小ファームウェアレベル .....	5
整合性グループ上の保留中のスナップショットイメージを停止する - SANtricity CLI .....	6
サポートされているアレイ .....	6
ロール .....	6
コンテキスト (Context) .....	6
構文 .....	6
パラメータ .....	6
最小ファームウェアレベル .....	6
ディスクプールの検索を停止する - SANtricity CLI .....	6
サポートされているアレイ .....	7
ロール .....	7
構文 .....	7

パラメータ .....	7
最小ファームウェアレベル .....	7
ドライブの検索を停止する - SANtricity CLI .....	7
サポートされているアレイ .....	7
ロール .....	7
構文 .....	7
パラメータ .....	7
最小ファームウェアレベル .....	8
ドライブ交換の停止 - SANtricity CLI .....	8
サポートされているアレイ .....	8
ロール .....	8
構文 .....	8
パラメータ .....	8
注： .....	9
最小ファームウェアレベル .....	9
ドライブチャンネル障害分離診断を停止する - SANtricity CLI .....	9
サポートされているアレイ .....	9
ロール .....	9
コンテキスト (Context) .....	9
構文 .....	9
パラメータ .....	10
注： .....	10
最小ファームウェアレベル .....	10
ドライブチャンネルの検索を停止する - SANtricity CLI .....	10
サポートされているアレイ .....	10
ロール .....	10
構文 .....	10
パラメータ .....	10
最小ファームウェアレベル .....	10
スナップショットグループの保留中のスナップショットイメージを停止する - SANtricity CLI .....	10
サポートされているアレイ .....	11
ロール .....	11
コンテキスト (Context) .....	11
構文 .....	11
パラメータ .....	11
最小ファームウェアレベル .....	11
スナップショットイメージのロールバックを停止する - SANtricity CLI .....	12
サポートされているアレイ .....	12
ロール .....	12
コンテキスト (Context) .....	12
構文 .....	12

パラメータ	12
注：	13
最小ファームウェアレベル	13
スナップショットボリュームの停止 - SANtricity CLI	14
サポートされているアレイ	14
ロール	14
構文	14
パラメータ	14
注：	14
最小ファームウェアレベル	14
SSD キャッシュの検索を停止する - SANtricity CLI	14
サポートされているアレイ	14
ロール	15
構文	15
パラメータ	15
最小ファームウェアレベル	15
SSD キャッシュ パフォーマンス モデリングを停止する - SANtricity CLI	15
サポートされているアレイ	15
ロール	15
コンテキスト (Context)	15
構文	15
パラメータ	16
注：	16
最小ファームウェアレベル	17
ストレージアレイ構成データベース診断を停止する - SANtricity CLI	17
サポートされているアレイ	18
ロール	18
構文	18
パラメータ	18
注：	18
最小ファームウェアレベル	18
ストレージアレイドライブのファームウェアのダウンロードを停止する - SANtricity CLI	18
サポートされているアレイ	18
ロール	19
コンテキスト (Context)	19
構文	19
パラメータ	19
最小ファームウェアレベル	19
ストレージアレイのiSCSIセッションを停止する - SANtricity CLI	19
サポートされているアレイ	19
ロール	19

構文 .....	19
パラメータ .....	20
最小ファームウェアレベル .....	20
ストレージアレイの検索を停止する - SANtricity CLI .....	20
サポートされているアレイ .....	20
ロール .....	20
構文 .....	20
パラメータ .....	20
最小ファームウェアレベル .....	20
トレイの位置特定を停止 - SANtricity CLI .....	20
サポートされているアレイ .....	21
ロール .....	21
構文 .....	21
パラメータ .....	21
最小ファームウェアレベル .....	21
ボリュームコピーを停止する - SANtricity CLI .....	21
サポートされているアレイ .....	21
ロール .....	21
構文 .....	21
パラメータ .....	21
ボリュームグループの検索を停止する - SANtricity CLI .....	22
サポートされているアレイ .....	22
ロール .....	22
構文 .....	22
パラメータ .....	22
最小ファームウェアレベル .....	22

# 停止...

## 非同期ミラーグループの役割の逆転をキャンセルする - SANtricity CLI

stop asyncMirrorGroup RoleChangeコマンドは'非同期ミラーグループ間の保留中のロール反転操作をキャンセルします

サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

構文

```
stop asyncMirrorGroup [asyncMirrorGroupName] rolechange
```

パラメータ

パラメータ	説明
「asyncMirrorGroup」	保留中のロール反転処理をキャンセルする非同期ミラーグループの名前。非同期ミラーグループ名は角かっこ ([]) で囲みます。非同期ミラーグループ名が特殊文字を含んでいる場合または数字のみで構成される場合は、名前を二重引用符 (") で囲んだ上で角かっこで囲む必要があります。

最小ファームウェアレベル

7.84

11.80で、EF600およびEF300アレイのサポートが追加されました。

## 整合性グループのスナップショットのロールバックを停止する - SANtricity CLI

stop cgSnapImage rollbackコマンドは'スナップショット・コンシステンシ・グループのメンバー・ベース・ボリュームへのロールバック・オペレーションを停止します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)



整合性グループのSnapshotのロールバック処理をキャンセルすると、ベースボリュームが不確定な状態になり、データが無効になるか整合性を失う可能性があります。関連する整合性グループのSnapshotボリュームは無効になり、使用できなくなります。

## 構文

```
stop cgSnapImage["<em>snapCGID:imageID</em>"] rollback  
memberVolumeSet ("<em>memberVolumeName1</em>" ...  
"<em>memberVolumeName</em>")
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「cgSnapImage」をクリックします	<p>ロールバック処理を停止する整合性グループのSnapshotイメージの名前。Snapshotイメージの名前は次の2つの部分で構成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Snapshotグループの名前</li> <li>• Snapshotグループ内のSnapshotイメージの識別子</li> </ul> <p>Snapshotイメージの識別子には次のいずれかを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Snapshotグループ内のSnapshotのシーケンス番号である整数値。</li> <li>• 最新スナップショットグループで作成された最新のスナップショットイメージを表示する場合に'このオプションを使用します</li> <li>• oldest --スナップショットグループで作成された最も古いスナップショットイメージを表示する場合に'このオプションを使用します</li> </ul> <p>Snapshotイメージ名は、二重引用符 ("" ) で囲んだ上で角かっこ ([]) で囲みます。</p>
「memberVolumeSet」をクリックします	<p>ロールバック処理を停止する整合性グループ内のメンバーベースボリュームの名前。各メンバーベースボリューム名は、二重引用符 ("" ) で囲んだ上で丸かっこ ([]) で囲みます。</p> <p>複数のメンバーベースボリューム名を入力できます。すべてのメンバーベースボリューム名を1組の角かっこ ([]) で囲みます。各メンバーベースボリューム名は二重引用符 ("" ) で囲みます。メンバーベースボリューム名はそれぞれスペースで区切ります。</p> <p>memberVolumeSet'パラメータが使用されていない場合は'ロールバック・プロセスを停止します環境 は'コンシステンシ・グループのすべてのメンバー・ボリュームを停止します</p>

## 注：

Snapshotイメージの名前は、次の2つの部分がコロン (:) で区切られています。

- Snapshotグループの識別子
- Snapshotイメージの識別子

たとえば、CG1という名前の整合性グループ内にある最新のSnapshotイメージのロールバック処理を停止する場合は、次のコマンドを使用します。



```
stop cgSnapImage ["CG1:newest"] rollback;
```

CG2という名前の整合性グループ内にあるベースボリュームメンバーmemVol1、memVol2、memVol3のSnapshotイメージ12345のロールバック処理を停止するには、次のコマンドを使用します。

```
stop cgSnapImage ["CG2:12345"] rollback memberVolumeset=("memVol1 memVol2 memVol3");
```

## 最小ファームウェアレベル

7.83

## 整合性グループのスナップショットボリュームを停止する - SANtricity CLI

stop cgSnapVolumeコマンドを実行すると、整合性グループのSnapshotボリュームを作成するためのcopy-on-write処理が停止します。

### サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

### ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

### コンテキスト (Context)

copy-on-write処理を再開するには、「resume cgSnapVolume」コマンドを使用します。



このコマンドによって整合性グループのSnapshotボリュームが削除されることはありません。整合性グループのスナップショットボリュームを削除するにはdelete cgSnapVolumeコマンドを使用します

### 構文

```
stop cgSnapVolume [<em>snapVolumeName</em>]
```

### パラメータ

パラメータ	説明
cgSnapVolume	作成を停止する整合性グループのSnapshotボリュームの名前。ボリューム名は角カッコ ([]) で囲みます。ボリューム名に特殊文字または数字が含まれている場合は、名前を二重引用符 (") で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。

## 最小ファームウェアレベル

7.83

## ボリュームパリティチェックジョブの停止 - SANtricity CLI

。 stop check volume parity job コマンドは、実行中のボリュームチェックパリティジョブを停止します。

### サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、EF600およびEF300アレイを含むすべてのストレージアレイを環境 します。

### ロール

このコマンドをEF600およびEF300ストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

### 構文

```
stop check volume parity job jobId=<job_id>;
```

## パラメータ

パラメータ	説明
jobId	停止するボリュームチェックパリティジョブに対応するジョブID。この値は必須です。

## 最小ファームウェアレベル

11.80

# 整合性グループ上の保留中のスナップショットイメージを停止する - SANtricity CLI

「stop consistencyGroup pendingSnapImageCreation」 コマンドは、Snapshot整合性グループに作成される保留中のSnapshotイメージをすべて停止します。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)

Snapshot整合性グループに保留中のSnapshotイメージがない場合はエラーメッセージが表示され、コマンドは実行されません。

## 構文

```
stop consistencyGroup  
[<em>consistencyGroupName</em>]pendingSnapImageCreation
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「consistencyGroupName」	保留中のSnapshot処理を停止する整合性グループの名前。整合グループの名前は角カッコ ([]) で囲みます。整合性グループ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、整合性グループ名を二重引用符 ("" ) で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。

## 最小ファームウェアレベル

7.83

# ディスクプールの検索を停止する - SANtricity CLI

stop diskPool locate コマンドは'start diskPool locate コマンドによってオンにされたドライブのインジケータ・ライトをオフにします

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop diskPool locate
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

7.83

# ドライブの検索を停止する - SANtricity CLI

stop drive locateコマンドは'start drive locateコマンドによってオンにされたドライブのインジケータライトを消灯します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop drive locate
```

## パラメータ

なし

## ドライブ交換の停止 - SANtricity CLI

stop drive replace'コマンドは'set drive'コマンドまたは'replace drive'コマンドのいずれかで開始されたデータ・コピー・オペレーションを'**copyDrive**'ユーザー入力で停止します

### サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

### ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

### 構文

```
stop drive replace ([trayID,[drawerID,]slotID] | <"wwID">)
```

### パラメータ

パラメータ	説明
「ドライブ」	<p>大容量ドライブトレイの場合は、ドライブのトレイIDの値、ドロワーIDの値、およびスロットIDの値を指定します。小容量ドライブトレイの場合は、ドライブのトレイIDの値とスロットIDの値を指定します。トレイIDの値は'0～99'ですドロワーIDの値は「1」～「5」です。</p> <p>スロットIDの最大値はすべて24です。スロットIDの値は、トレイのモデルに応じて0または1で始まります。E2800コントローラおよびE5700コントローラと互換性があるドライブトレイのスロットID番号は0から始まります。E2700およびE5600コントローラと互換性のあるドライブトレイのスロットID番号は1から始まります。</p> <p>トレイIDの値、ドロワーIDの値、およびスロットIDの値は角かっこ ([]) で囲みます。</p>

パラメータ	説明
「ドライブ」	交換するドライブのWorld Wide Identifier (WWID)。WWIDは二重引用符 (") で囲んだ上で山かっこ (<) で囲みます。

## 注：

'drive'パラメータは'大容量ドライブトレイと小容量ドライブトレイの両方をサポートします大容量ドライブトレイには、ドライブを格納するドロワーがあります。ドロワーをドライブトレイから引き出して、ドライブへのアクセスを提供します。小容量ドライブトレイにはドロワーはありません。大容量ドライブトレイの場合は、ドライブトレイの識別子 (ID)、ドロワーのID、ドライブが配置されているスロットのIDを指定する必要があります。小容量ドライブトレイの場合は、ドライブトレイのIDと、ドライブが格納されているスロットのIDだけを指定する必要があります。小容量ドライブトレイの場合、ドライブトレイのIDを指定し、ドロワーのIDを「0」に設定し、ドライブが格納されているスロットのIDを指定する方法もあります。

## 最小ファームウェアレベル

8.20で

## ドライブチャネル障害分離診断を停止する - SANtricity CLI

stop driveChannel faultDiagnosticsコマンドは'ドライブ・チャネルの障害切り分け診断を停止しますこれにより'start drive channel fault isolation diagnosticsコマンドが完了する前に停止します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)



ファームウェアバージョン8.10では、「stop driveChannel faultDiagnostics」コマンドは廃止されました。

## 構文

```
stop driveChannel faultDiagnostics
```

## パラメータ

なし

## 注：

start driveChannel faultDiagnosticsコマンドと'stop driveChannel faultDiagnosticsコマンドを使用しますこれらのコマンドは、診断テストを開始し、診断テストの結果をファイルに保存するために必要です。

「start driveChannel faultDiagnostics」 コマンドは、Ctrl + Cキーを押すいつでも停止できます。

## 最小ファームウェアレベル

7.15

# ドライブチャネルの検索を停止する - SANtricity CLI

stop driveChannel locateコマンドは'start driveChannel locateコマンドによってオンにされたドライブトレイのインジケータライトを消灯します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop driveChannel locate
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

6.10

# スナップショットグループの保留中のスナップショットイメージを停止する - SANtricity CLI

'stop pendingSnapImageCreation'コマンドは、スナップショットまたはスナップショッ

ト整合性グループに作成される保留中のスナップショットイメージをすべてキャンセルします。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)

Snapshotグループに保留中のSnapshotイメージがない場合はエラーメッセージが表示され、コマンドは実行されません。このコマンドは、SnapshotグループまたはSnapshot整合性グループに対して実行できます。

## 構文

```
stop (snapGroup [<em>snapGroupName</em>] |
consistencyGroup [<em>snapConsistencyGroupName</em>])
pendingSnapImageCreation
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「SnapGroup」	保留中のSnapshotイメージを停止するSnapshotグループの名前。Snapshotグループ名は角カッコ ([]) で囲みます。Snapshotグループ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、Snapshotグループ名を二重引用符 (") で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。
「consistencyGroup」	保留中のSnapshotイメージを停止するSnapshot整合性グループの名前。Snapshot整合性グループ名は角カッコ ([]) で囲みます。Snapshot整合性グループ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、Snapshotグループ名を二重引用符 (") で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。

## 最小ファームウェアレベル

7.83



# スナップショットイメージのロールバックを停止する - SANtricity CLI

stop snapImage rollbackコマンドは'start snapImage rollback'コマンドによって開始されたスナップショット・イメージ・ロールバック・オペレーションを停止します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)



Snapshotイメージのロールバック処理をキャンセルすると、ベースボリュームが不確定な状態になり、データが無効になるか整合性を失う可能性があります。関連するSnapshotイメージボリュームは無効になり、使用できなくなります。

## 構文

```
stop snapImage [<em>snapCGID:imageID</em> rollback]
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「SnapImage」	<p>ロールバック処理を停止するSnapshotイメージの名前。Snapshotイメージの名前は次の2つの部分で構成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Snapshotグループの名前</li> <li>• Snapshotグループ内のSnapshotイメージの識別子</li> </ul> <p>Snapshotイメージの識別子には次のいずれかを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Snapshotグループ内のSnapshotのシーケンス番号である整数値。</li> <li>• 最新--スナップショットグループで作成された最新のスナップショットイメージを表示する場合に'このオプションを使用します</li> <li>• oldest --スナップショットグループで作成された最も古いスナップショットイメージを表示する場合に'このオプションを使用します</li> </ul> <p>Snapshotイメージ名は、二重引用符 ("" ) で囲んだ上で角かっこ ([]) で囲みます。</p>

## 注：

Snapshotイメージの名前は、次の2つの部分がコロン (:) で区切られています。

- Snapshotグループの識別子
- Snapshotイメージの識別子

たとえば、SnapshotグループsnapGroup1内のSnapshotイメージ12345のロールバック処理を停止する場合は、次のコマンドを使用します。

```
stop snapImage ["snapGroup1:12345"] rollback;
```

SnapshotグループsnapGroup1内の最も新しいSnapshotイメージのロールバック処理を停止するには、次のコマンドを使用します。

```
stop snapImage ["snapGroup1:newest"] rollback;
```

## 最小ファームウェアレベル

7.83

# スナップショットボリュームの停止 - SANtricity CLI

stop snapVolume コマンドは、スナップショット・ボリュームのオペレーションを停止します。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop snapVolume ["<em>snapVolumeName</em>"]
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「SnapVolume」	停止するSnapshotボリュームの名前。Snapshotボリューム名は、二重引用符 (") で囲んだ上で角かっこ ([]) で囲みます。

## 注：

名前には、英数字、アンダースコア ( \_ )、ハイフン ( - )、シャープ ( # ) を任意に組み合わせて使用できます。名前の最大文字数は30文字です。

## 最小ファームウェアレベル

7.83

# SSD キャッシュの検索を停止する - SANtricity CLI

「stop ssdCache locate」 コマンドは、「start ssdCache locate」 コマンドによってオンにされたソリッドステートディスク (SSD) のインジケータライトをオフにします。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Support Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop ssdCache locate
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

7.84

11.80で、EF600およびEF300アレイのサポートが追加されました。

# SSD キャッシュ パフォーマンス モデリングを停止する - SANtricity CLI

stop ssdCache performanceModelingコマンドは'パフォーマンスモデリング処理を停止し' SSDキャッシュのパフォーマンスモデリングデータを表示します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Support Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)

このコマンドを実行する前に'start ssdCache performanceModelingコマンドを使用して'パフォーマンスモデリング操作を開始する必要があります必要に応じて、データをファイルに保存することができます。

## 構文

```
stop ssdCache [<em>ssdCacheName</em>] performanceModeling  
[file="<em>filename</em>"]
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「ssdCache」	パフォーマンスモデリングを停止するSSDキャッシュの名前。SSDキャッシュ名は角かっこ ([]) で囲みます。SSDキャッシュ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、SSDキャッシュ名を二重引用符 ("" ) で囲んだ上で角かっこで囲む必要があります。
'file'	<p>パフォーマンスモデリングデータの保存先となるファイルパスとファイル名。ファイル名は二重引用符 ("" ) で囲みます。例：</p> <p>'file="C:\Program Files\CLI\logs\ssdcacheperf.csv"</p> <p>任意のファイル名を使用できますが'.csv'拡張子を使用する必要があります</p>

## 注：

このコマンドから返されるパフォーマンスモデリング情報の例を次に示します。モニタのサイズによって、情報がどのように折り返されるかが決まり、情報がどのように表示されるかが決まります。

```
SSD Cache Name: my_cache
Start time: 4/18/12 2:38:26 PM IST
Stop time: 4/18/12 2:38:45 PM IST
Duration : 00:00:19
```

SSD Cache Performance Modeling Data (Response Time):

		SSD Reads		HDD Reads		HDD
Writes		Avg.		Avg.		Avg.
Cache	Overall	Response	% of	Response	% of	Response
% of	Response	Time	I/Os	Time	I/Os	Time
Capacity	Time	Time		Time		
I/Os						
186 GB	0 ms	0 ms	0.0 %	0 ms	0.0 %	0 ms
0.0 %						
372 GB	0 ms	0 ms	0.0 %	0 ms	0.0 %	0 ms
0.0 %						
557 GB *	0 ms	0 ms	0.0 %	0 ms	0.0 %	0 ms
0.0 %						
558 GB	0 ms	0 ms	0.0 %	0 ms	0.0 %	0 ms
0.0 %						
744 GB	0 ms	0 ms	0.0 %	0 ms	0.0 %	0 ms

```

0.0 %
931 GB      0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %
1117 GB     0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %
1303 GB     0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %
1489 GB     0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %
1675 GB     0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %
1862 GB     0 ms      0 ms      0.0 %    0 ms      0.0 %    0 ms
0.0 %

```

\* = Current SSD cache physical capacity.

SSD Cache Performance Modeling Data (Cache Hit %):

Cache Capacity	Cache Hit %
186 GB	0 %
372 GB	0 %
557 GB *	0 %
558 GB	0 %
744 GB	0 %
931 GB	0 %
1117 GB	0 %
1303 GB	0 %
1489 GB	0 %
1675 GB	0 %
1862 GB	0 %

\* = Current SSD cache physical capacity.

## 最小ファームウェアレベル

7.84

11.80で、EF600およびEF300アレイのサポートが追加されました。

## ストレージアレイ構成データベース診断を停止する - SANtricity CLI

stop storageArray configDbDiagnostic' コマンドは 'start storageArray configDbDiagnostic' コマンドによって起動されたコントローラ・ファームウェアの構成データベースを検証する診断テストを停止します

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop storageArray configDbDiagnostic
```

## パラメータ

なし

## 注：

コントローラファームウェアは、診断テストがキャンセルされたことを確認するメッセージを返します。

また、ストレージ管理ソフトウェアのGUIからデータベース構成の診断テストを開始することもできます。ただし、ストレージ管理ソフトウェアのGUIから診断テストを停止することはできません。実行中の診断テストを停止するには'stop storageArray configDbDiagnostic'コマンドを使用する必要があります

ストレージ・アレイの構成の検証が完了した後に'stop storageArray configDbDiagnostic'コマンドを使用しようとすると'検証が完了したことを示すメッセージは表示されませんこれは想定される動作です。

## 最小ファームウェアレベル

7.75

7.77で、用法が見直されました。

## ストレージアレイドライブのファームウェアのダウンロードを停止する - SANtricity CLI

「stop storageArray driveFirmwareDownload」 コマンドは、「download storageArray driveFirmware」 コマンドで開始したストレージアレイ内のドライブへのファームウェアダウンロードを停止します。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## コンテキスト (Context)

このコマンドは、すでに進行中のファームウェアダウンロードは停止しません。このコマンドは、ダウンロードを待機しているドライブへのファームウェアダウンロードをすべて停止します。

## 構文

```
stop storageArray driveFirmwareDownload
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

6.10

# ストレージアレイのiSCSIセッションを停止する - SANtricity CLI

「stop storageArray iscsiSession」 コマンドは、ストレージアレイのiSCSIセッションを強制的に終了します。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop storageArray iscsiSession [<em>SessionNumber</em>]
```



## パラメータ

パラメータ	説明
「* iscsiSession *」のようになります	iSCSIセッションの識別番号。iSCSIセッションの識別番号は角かっこ ([ ]) で囲みます。

## 最小ファームウェアレベル

7.10

# ストレージアレイの検索を停止する - SANtricity CLI

stop storageArray locateコマンドは'start storageArray locateコマンドによってオンにされたストレージ・アレイのインジケータ・ライトをオフにします

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop storageArray locate
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

6.10

# トレイの位置特定を停止 - SANtricity CLI

stop tray locateコマンドは'start tray locateコマンドによってオンにされたトレイのインジケータライトをオフにします

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop tray locate
```

## パラメータ

なし

## 最小ファームウェアレベル

6.10

# ボリュームコピーを停止する - SANtricity CLI

'stop VolumeCopy target source'コマンドは、ボリュームコピー操作を停止します。このコマンドは、Snapshotボリュームコピーペアに対して有効です。

## サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

## ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

## 構文

```
stop volumeCopy target [<em>targetName</em>] source [<em>sourceName</em>]
```

## パラメータ

パラメータ	説明
「target」と入力します	ボリュームコピー処理を停止するターゲットボリュームの名前。ターゲットボリューム名は角カッコ（[]）で囲みます。ターゲットボリューム名に特殊文字または数字が含まれている場合は、ターゲットボリューム名を二重引用符（""）で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。
「source」を参照してください	ボリュームコピー処理を停止するソースボリュームの名前。ソースボリューム名は角カッコ（[]）で囲みます。ソースボリューム名に特殊文字または数字が含まれている場合は、ソースボリューム名を二重引用符（""）で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。

## ボリュームグループの検索を停止する - SANtricity CLI

stop volumeGroup locateコマンドは'start volumeGroup locateコマンドによってオンにされたドライブのインジケータライトをオフにします

### サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

### ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

### 構文

```
stop volumeGroup locate
```

### パラメータ

なし

### 最小ファームウェアレベル

6.16

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。